

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(51)Int.Cl. ¹	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
E 0 4 F 15/02		N 7805-2E		
		R 7805-2E		
	1 0 1	G 7805-2E		
15/08		7805-2E		

審査請求 未請求 請求項の数6(全 6 頁)

(21)出願番号 特願平3-316385

(22)出願日 平成3年(1991)11月29日

(71)出願人 000002174

積水化学工業株式会社

大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号

(72)発明者 近藤 賢

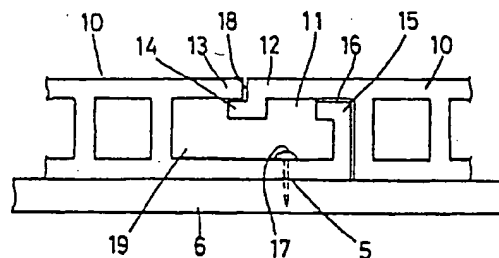
茨城県つくば市松代5-2-29

(54)【発明の名称】 屋外用床板及びその取付方法

(57)【要約】

【目的】 屋外用床板の連結部へのコーキング処理を不要とし、かつ、雨水の排水機能、防水機能を備えた屋外用床板及びその取付方法を提供すること。

【構成】 屋外用床板10同士を連結した場合に、該連結部に閉塞空所19を形成し、この空所19を雨水排水用樋として利用し、排水機能を持たせる。また、水密性部材16を介在させ、さらに、屋外用床板10に取付用の孔を設けないようにして防水機能を向上させる。



5

に引出部12の裏面が密着するようにして、床フレーム6上に置く。この屋外用床板10の開口部11の前端15は、上記と同様にして床板押さえ金具21により床フレーム6上に固定される。

【0035】以下、同様の手順により、屋外用床板10同士を順次連結し、屋外廊下等を構成するものである。

【0036】上記の取付方法によれば、各屋外用床板にビス止め用の孔を穿設することがなく、床板押さえ金具を用いて、床フレーム10等に固定するために、それらの孔の周辺やビスの頭への防水処理を不要とし、かつ、該孔を介した雨漏れおそれなくなる利点を有する。

【0037】尚、上記の実施例では、U字形部22を有する床板押さえ金具21を使用した。必ずしも該U字形部22を有する必要はなく、例えば、開口部11の前端15の外側面にビス止めするようにして良い。

【0038】さらに、屋外用床板10の被固定部材は、床フレームに限らず、種々の部材に上記と同様の方法で広く適用できるものである。

【0039】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の屋外用床板は、該屋外用床板同士を連結した場合に、その連結部に閉塞空所が形成され、この空所を雨水排水用樋として利用することにより、連結部の排水機能を十分達成することができる。このため、従来のコーキングのための作業工数が大いに減少する。また、屋外用床板の床フレーム等への取付の際に、開口部の直上から作業を行なうことができるため、作業性が改善される。

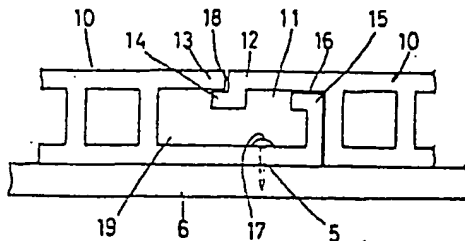
【0040】さらに、本発明の屋外用床板の取付方法は、各屋外用床板にビス止め用の孔を穿設することなく、床板押さえ金具を用いて、床フレーム等に固定するために、それらの孔の周辺やビスの頭への防水処理を不要とし、かつ、該孔を介した雨漏れおそれなくなり、防水機能が向上するなどの優れた効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の屋外用床板の床フレームへの取付状態を示す側面図である。

【図2】上記屋外用床板単体の側面図である。

【図1】



6

【図3】上記屋外用床板の床フレームへの取付状態を示す斜視図である。

【図4】他の実施例を示す上記同様の取付状態を示す側面図である。

【図5】本発明の屋外用床板の取付方法を説明するための図1と同様の側面図である。

【図6】連結部の実施例の一つを示す図5と同様の側面図である。

【図7】連結部の他の実施例を示す図6と同様の側面図である。

【図8】本発明の屋外用床板の施工方法における施工初期状態を示す斜視図である。

【図9】上記施工方法における施工中間状態を示す側面図である。

【図10】上記施工方法における1単位の屋外用床板の施工完了状態を示す側面図である。

【図11】従来の屋外用床板を使用して屋外廊下を施工した場合の概略図である。

【図12】上記従来の屋外用床板単体の側面図である。

【符号の説明】

5 ビス、

6 床フレーム、

10 屋外用床板、

11 開口部、

12 引出部、

13 後端、

14 L型受け部、

15 前端、

16 水密性部材、

17 シーリング、

18 隙間、

19 閉塞空所、

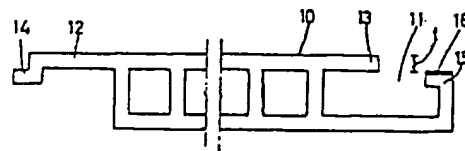
20 水密材、

21 床板押さえ金具、

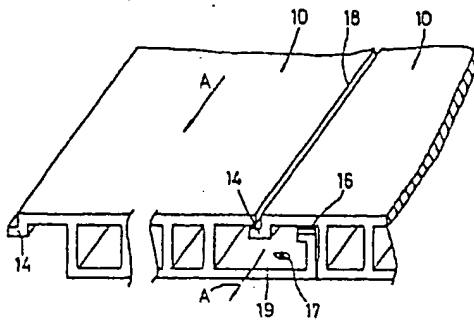
22 U字型部、

23 座部。

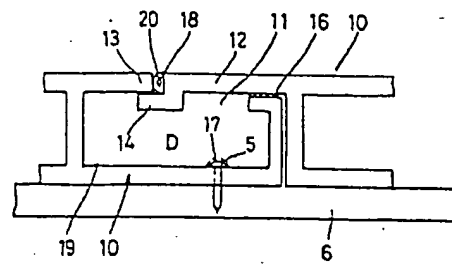
【図2】



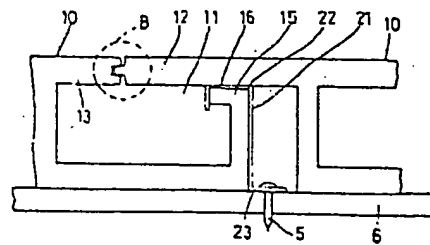
【図3】



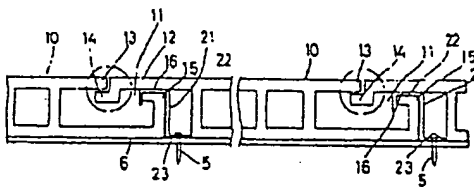
【図4】



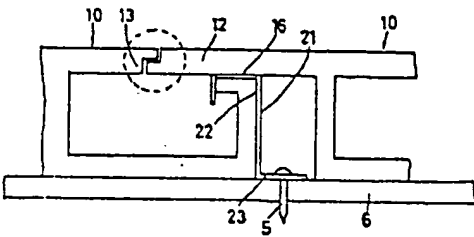
【図6】



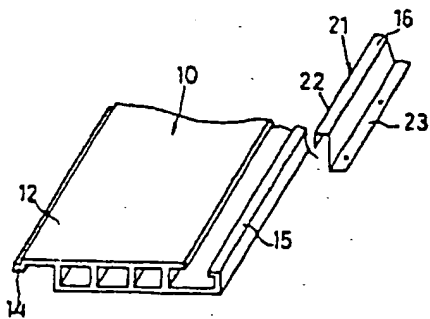
【図5】



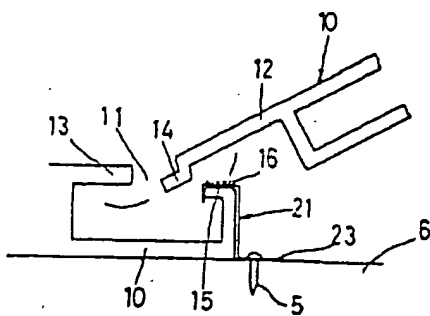
【図7】



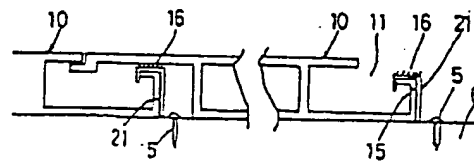
【図8】



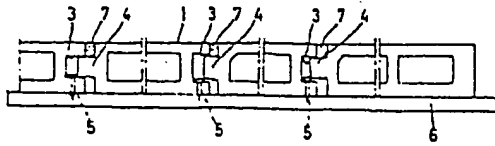
【図9】



【図10】



【図11】



【図12】

